

## 8

**野焼きについて学ぼう(事前学習、野焼き体験、事後学習)**

実施校：宮地小学校（阿蘇市）5年生ら ※H23年度ショートスクール「野焼き編」より

## ■実施概要

阿蘇の草原を維持するために欠かせない作業である「野焼き」について、事前学習で学んだ上で実際に体験する。

## ■学習のねらい

- ・事前の学習により、草原を維持するために野焼きが果たす役割を知る
- ・体験によって、野焼きが危険でたいへんな作業であることを実感する
- ・体験を通して、野焼きについてもっと知りたいことや疑問を持つ
- ・炎に焼かれる枯れ草を目の当たりにし、火の力を感じる。
- ・参加者が協力して安全に野焼きを実施することを通して、共同作業の大切さを知る

## ■学習の流れ

## ①教室内学習と体験学習ー125分(3コマ)

2月16日(木)13:40~16:00

**野焼きについて学ぼう(事前学習)**

講師：町古閑牧野組合／市原啓吉組合長

**火消し棒づくり(事前学習)**

講師：阿蘇グリーンストック野焼き支援ボランティアリーダー

- ・野焼きについての基本的な情報を提供。体験に向けた準備や心構えをする。
- ・野焼き体験で子どもたちが使う火消し棒を自分たちで制作する。

## ②野外体験学習ー半日(4コマ)

**学習劇「野焼きについて」****野焼き体験**

2月24日(金)9:10~13:50

講師：小堀牧野組合／田島今朝信組合

- 9:10 集合（今日の予定について説明）  
→小学校をバスで出発し交流の家へ
- 9:40 開会
- 9:50 学習劇「野焼きについて」
- 10:30 集いの広場集合  
・野焼き体験
- 12:30 野焼き体験終了
- 12:40 昼食（レストランにて）
- 13:30 学校へ向けて出発
- 13:50 学校着・活動終了

教室内学習

**ふいかえり(事後学習)**

ー各小学校で実施

&lt;実施時期&gt;平成24年2月

&lt;実施時間&gt;

①事前学習(3コマ)

②学習劇・野焼き体験(半日/4コマ)

&lt;参加者&gt;

①宮地小学校5年生、山田小学校4年生(計75名)、担任教諭ら

②宮地小学校5年生、古城小学校5年生、山田小学校4年生(計107名)、担任教諭ら

&lt;実施場所&gt;

国立阿蘇市少年交流の家及び小堀牧野

&lt;講師&gt;小堀牧野組合 田島今朝信組合長、阿蘇グリーンストック 野焼き支援ボランティアリーダーなど

&lt;安全管理&gt;阿蘇グリーンストック野焼き支援ボランティアリーダーなど計8名

&lt;準備するもの&gt;

①竹・ツル等火消し棒の材料(竹、ツル等)、製作に用いる道具

②火消し棒、ジェットシューター、水、救急箱等

&lt;主催・コーディネーター&gt;

国立阿蘇青少年交流の家

## ■実施の様子

### ◇火消し棒づくり

- ・野焼き体験に向けて、火消し棒づくりに取り組みました。
- ・自分で作った火消し棒を使って実際に火消しを行い、野焼きの大変さや危険性を実感しました。



### ◇劇を通じて野焼きについて学習

- ・野焼き体験の前には、キッズ・プロジェクトのメンバーによる野焼きをテーマとした劇を通して、これから体験する野焼きや草原の大切さを学習。



### ◇野焼き体験

- ・野焼き体験では、火消し棒やジェットシューターを使って消火活動を行い、野焼きの火のすごさや作業の大変さを実感。



#### ◇体験後、子どもたちの感想より

- ・お父さんが地区の野焼きに行っていて、こういうことをしているのかと初めて知った。大きくなったら、お父さんと一緒に野焼きをして草原を守っていきたい。

## ■成果など

- ・中規模校である宮地小学校を含む6校、100名以上の児童が野焼き体験に参加したが、事前学習で野焼きのことや注意事項を学んだ上で野焼き体験をすることで、安全に活動が行われた。
- ・野焼きの道具づくりから野焼きの現場を体験したことにより、草原を守っていくための地元の人々の努力や作業の大変さを実感し、草原や草原を守ることへの関心が高まった。

#### \*留意点\*

- ・野焼きの実施は天候に左右されるので、雨の場合の予備日を設定したり、雨天の場合の代替活動を準備したりすることが必要となります。